

平成 2 6 年 度

# 教 育 行 政 執 行 方 針

伊 達 市 教 育 委 員 会

## 目 次

I	はじめに	1
II	推進項目	1～8
	1 幼稚園・学校教育	1～5
	2 社会教育	5～6
	3 芸術文化	6～7
	4 スポーツ振興	8
III	むすび	8

## **I はじめに**

平成26年第1回伊達市議会定例会の開会にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

今日、教育を取り巻く社会情勢は、止まらぬ少子高齢化による産業構造の変化、情報通信機器の多様化に伴う新たな情報社会の形成やグローバル化などが進み、2020年東京オリンピック開催に向け、さらにその変化のスピードは増していくものと思われま

す。このような環境の中、人づくりである教育の重要性はますます高まり、時代の変化に柔軟に対応できる人材の育成が求められています。

本市ではこうした認識のもと、多くの教育課題に対応するため、第六次伊達市総合計画や伊達市教育振興基本計画などに基づき各種施策を推進しているところです。

未だ先行き不透明な時代の中、高い志を持ち、社会で自立して生きていくために必要な学力やコミュニケーション能力など実践的な力を身につけた人材、生まれ育ったこのふるさとを愛し、地域の発展に主体的に貢献できる人材を育成できるよう、関係機関や関係団体と連携して教育行政の推進に取り組んでまいります。

## **II 推進項目**

次に、平成26年度の重点施策と推進項目について申し上げます。

### **1 幼稚園・学校教育**

第一は、幼稚園・学校教育についてであります。

## **社会で生きる実践的な力の育成**

確かな学力の向上をめざし、引き続き全国学力・学習状況調査に参加してまいります。また、小学校1年生から中学校2年生までを対象とした伊達市独自の学力テストを引き続き実施し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、学校と家庭が連携した学習意欲向上の取組として、家庭における学習習慣と望ましい生活習慣の確立を促進してまいります。

特別支援教育につきましては、障がいのある子どもたちの自立や社会参加を促進するため、乳幼児期から中学校卒業までの一貫した支援をめざし、各校種間での効果的な引き継ぎを推進してまいります。

また、小学校、中学校に支援員や介護員を配置し、担任と連携を図りながら、個々のニーズに応じた支援を進めてまいります。

情報ネットワークの高度化や有害情報に適切に対応するための情報活用能力を育成するとともに、学校と家庭が連携を図りながら、情報機器を利用する際の情報モラルを身につけさせる指導を行ってまいります。

また、各校の教育用パーソナルコンピュータを随時更新してまいります。

子どもたちが、将来、社会人・職業人として自立していくことができるよう、小・中学校において発達段階に応じたキャリア教育を推進してまいります。

国際理解教育につきましては、伊達地区2名、大滝区1名の外国語指導助手の各学校への派遣形態や指導方法について、学校と連携しながら、より効果的な活用を推進してまいります。

## **豊かな心と健やかな体の育成**

就学前の幼児期は、生きる力の基礎となる意欲や態度、基本的な生活習慣、

コミュニケーション能力など、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる時期であることから、遊びや生活を通じた総合的な指導と、幼児と児童の交流活動など幼小連携に努めてまいります。

また、さくら幼稚園の本年度末閉園に伴う園児数の減に対応した各種行事などの取組方策について、保護者と協議しながら進めてまいります。

子どもたちに規範意識や倫理観を身に付けさせることを柱に、生命を大切にする心、思いやりのある心、美しいものに感動する心など豊かな感性とふるさとを愛する心を育むとともに、いじめを生まないような集団づくりと人間関係の形成を図るため、教育活動全体を通して道徳教育の充実に努めてまいります。

健やかな体を育てるため、保健体育を中心とした教科指導の充実に努め、学校における体力向上の取組を進めるとともに、日常的な場面においても生活習慣の改善や運動能力の向上を推進してまいります。

食育・健康教育につきましては、引き続き、食に関する知識、望ましい食習慣の習得のため、日常的な給食指導や栄養教諭による食に関する指導を推進するとともに、食生活と健康、食物生産などの知識・理解の習得について、各教科や特別活動など、教育活動全体の中で取り組んでまいります。

また、フッ化物洗口につきましては、引き続き、全ての小・中学校の児童生徒及びさくら幼稚園児に対して実施し、歯と口腔の健康づくりを推進してまいります。

いじめは人間として絶対に許されないとの認識のもと、いじめの起こらない雰囲気を作り、学校全体で醸成し、これまでも取り組んできたいじめの未然防止や早期発見、早期対応について、学校と連携しながら推進してまいります。

生徒指導につきましては、教育相談の充実に努めるとともに、教職員の生徒指導に対する共通理解・生徒指導対応能力の向上を図り、児童生徒の人

間関係を基盤とした学校全体の協働指導体制の確立に努めてまいります。

また、不登校対策訪問アドバイザーを配置するとともに、ボランティアの協力を得ながら不登校児童生徒サポートハウス「子どもの国フェニックス」を継続して運営してまいります。

### **信頼される学校づくりの推進**

開かれた学校づくりにつきましては、学校評議員制度の有効な活用を図るとともに、学校が行った自己評価の客観性と透明性を高めるため、保護者や地域住民などを評価者とする学校関係者評価の取組を推進してまいります。

地域や保護者に対しましては、学校便りなどによる情報提供を促進するとともに、地域に向けた公開授業を実施し、地域とともに子育てを進めていく学校づくりに努めてまいります。

教職員の資質向上につきましては、優れた資質・能力を有する教職員の確保に努めるとともに、指導力・実践力のある教職員を育成するため、確かな学力向上や教育相談能力などをテーマとした分科会形式の「伊達市教育実践交流・研修会」を開催してまいります。

また、稀府小学校、黄金小学校、達南中学校を伊達市教育研究会指定校とし、全教職員を対象に研究テーマを設定した公開研究会を実施してまいります。

### **安全・安心な教育環境づくりの推進**

子どもたちが安全、安心に過ごせる学校環境を保つため、学校施設の修繕や維持管理に努めてまいります。また、少子化に対応した適正な学校配置の在り方について、学校、保護者、地域を含めた協議を進めてまいります。

安全対策につきましては、学校や通学路における児童の事故防止のため、

市内小学校を対象にスクールガードリーダーによる巡回指導を行うほか、新入学児童への防犯ブザーの配布を継続してまいります。

防災教育につきましては、自然災害に対応する学校危機管理マニュアルの改善・充実を図るとともに、災害別避難訓練等を通して子どもたちへの防災意識を啓発してまいります。

## **2 社会教育**

第二は、社会教育についてであります。

### **ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進**

社会の複雑多様化に伴い、次代を担う子どもたちを取り巻く環境も大きく変化する中、心身共に健全な発達が図られるよう青少年団体や企業等との連携を図り、青少年教育の推進を図ってまいります。

また、姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修会への派遣など各種研修会への参加を促進するとともに、青少年団体の自主的活動の支援と育成に努めてまいります。

### **主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進**

高齢化、情報化社会が進展する中であって、市民が生涯にわたり自主的学習ができるよう多様な学習機会と内容の充実など環境の整備に努めてまいります。

高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることができるよう長生大学への参加を促すとともに、学習内容の充実や学習経験を活かしたボランティア活動など、長生大学における社会参加にも努めてまいります。

家庭や地域における教育力の向上を図るため、家庭教育に関する情報提

供に努めてまいります。

図書館につきましては、引き続き基本図書の充実を図り市民の生涯学習活動を支援するとともに、市民にとって身近な図書館をめざすため、読み聞かせボランティア活動以外にも、図書館業務に参加するボランティアの育成に努めてまいります。

また、幼児期の親子関係を育む読書活動として絵本の読み聞かせやブックスタート事業、児童生徒の読書活動や市民の高度化する学習要求に対応したレファレンスサービス、地域での読書機会を拡充する地域文庫事業を推進してまいります。

女性リーダー育成につきましては、引き続き派遣研修事業を実施し、男女共同参画社会づくりのための講演会など意識啓発事業を行ってまいります。

### **3 芸術文化**

第三は、芸術文化についてであります。

#### **個性あふれ、潤いある地域文化の創造**

伊達メセナ協会をはじめ、関係団体と密接な連携を図り、市民が幅広い分野で芸術文化に触れることができるよう、機会の提供に努めてまいります。

また、小中学生を対象に、引き続き巡回小劇場を開催するなど子どもたちに鑑賞機会を提供するとともに、市民による自主的な文化活動が積極的に行われるよう、発表の場の提供や支援に努めてまいります。



## 芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進

だて噴火湾アートビレッジ事業につきましては、「絵画教室」や「ジュニア美術セミナー」、「伊達音楽アカデミー」を開催し、国内外で活躍する人材の育成に努めてまいります。

寄贈や寄託を受けた美術品等につきましては、展覧会などでの公開による活用を図ってまいります。

また、伊達市噴火湾文化研究所を拠点に活動される画家の野田氏、永山氏、廣戸氏の三氏による「存在の美学－伊達市噴火湾文化研究所同人展」を東京、大阪、札幌及び本市で開催し、だて噴火湾アートビレッジ事業を広くPRするとともに、市民の芸術意識の高揚を図ってまいります。

宮尾登美子文学記念館につきましては、「朗読会」や「音楽コンサート」の開催を通じ文学に親しむ機会の提供に努めてまいります。

## 歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

噴火湾文化につきましては、引き続き、各大学、調査研究機関や研究者の協力のもと、調査研究を進めてまいります。

世界遺産推薦候補である「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の1資産となっている北黄金貝塚につきましては、関係行政機関などと連携し特別展の実施や、文化財ボランティア団体の協力のもと講演会やフォーラムを開催するなど世界遺産登録に向けたPRに努めてまいります。

開拓記念館につきましては、老朽化が進んでいることから、黎明観敷地内に縄文文化財、武家文化財及び美術作品等の展示・保管を行う総合文化館の建設に向けた計画を進めてまいります。

また、重要文化財「蝦夷三官寺善光寺資料」を収蔵する善光寺宝物館の運営を引き続き支援してまいります。

## 4 スポーツ振興

第四は、スポーツ振興についてであります。

### スポーツ・レクリエーション活動の振興

体力や年齢、健康志向に応じた各種スポーツへの参加機会の提供や促進を図るため、スポーツ推進委員会や各スポーツ関係団体等と密接に連携して、ニュー・スポーツの講習会やスポーツ教室の開催など活動環境の充実に努め、市民の健康づくりを推進してまいります。

また、本年4月に温水プール及びトレーニング室が開館することから、併設する総合体育館をはじめ、その他の体育施設との連携した活用の促進に努めてまいります。

## Ⅲ むすび

以上、平成26年度の教育行政執行にあたっての方針と重点施策及び推進項目について申し上げます。

伊達市教育委員会といたしましては、次代を担う子どもたちが健やかに成長するため、知・徳・体をバランスよく育ていくとともに、生涯を通して豊かに学ぶことができ、地域の活性化と発展につながる生涯学習社会の構築に取り組んでまいります。

市議会議員の皆さま並びに市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。